

15 . 弓 道 競 技 実 施 要 項

1 主 催 大分県高等学校体育連盟

期 日	時 間	適 用
6月2日(土)	8 : 30 ~ 9 : 20 ~ 9 : 30 9 : 40 ~ 15 : 40 15 : 50 ~	監督会議 開会式 団体 1次予選(ベスト16) 終了式
6月3日(日)	8 : 30 ~ 8 : 50 ~ 9 : 00 9 : 00 ~ 13 : 30 13 : 30 ~ 17 : 30 17 : 40 ~	監督会議 開始式 団体 2次予選(ベスト7) 個人戦(九州・全国総体予選を兼ねる。) 終了式 (個人表彰式)
6月4日(月)	8 : 30 ~ 8 : 50 ~ 9 : 00 9 : 00 ~ 15 : 00 15 : 00 ~	監督会議 開始式 団体決勝リーグ戦 (九州・全国総体予選を兼ねる。) 閉会式(団体表彰式)

3 場 所 大洲総合運動公園弓道場(大分市青葉町) TEL 097-551-2110
※監督会議は同会場の射場で行う。

4 競技規則 全国高等学校体育連盟弓道競技規則及び(公財)全日本弓道連盟競技規則による。

- 5 競技方法
- (1) 種別は、①近的・立射 ②男女別 ③団体競技・個人競技 とする。
- (2) 団体一次予選について(第一日目)
- ア. 男子・女子の順に、4矢2立(各8射・チーム合計40射)を行う。
- イ. 2チーム同時に行射(チームは順立)する。
- ウ. ベスト16チーム(拡大解釈=16位のチームが複数ある場合すべて)を一次予選通過、それより下位チームを失格とする。
- エ. 1チームの行射時間は6分30秒以内とし、それ以降離れた矢は失格とする。
(行射時間=「始め」の合図から最後の射手の「離れ」まで)なお、弦切れの場合は跪坐して待ち、以後の射手は替弦を持たずに順次行射する。一巡したら順立に戻る。
- オ. 制限時間はブザーにより、次の要領で合図する。《30秒前(6分)・・・短く 終了(6分30秒)・・・長く》
- (3) 団体二次予選について(第二日目)
- ア. 第一日目の予選通過チームが、男子・女子の順に4矢2立(計40射)を行う。
- イ. 2チーム同時に行射(チームは順立)する。
- ウ. 第1・2日の総的中数によるベスト7のチームを予選通過、それより下位チームを失格とする。
(同中のため7チームを超えるときは、各自1本ずつの競射により7チームにしぼる)
- エ. 1チームの行射制限時間は6分30秒とする。
- (4) 個人戦について(第二日目)
- ア. 全国高校総体・九州大会の予選を兼ねる。(10人立ち)
- イ. 予選は、男子・女子の順に各自4射を行い、3中以上を準決勝進出とする。
- ウ. 準決勝は、女子・男子の順に各自4射を行い、3中以上を決勝進出とする。
- エ. 決勝は、各自1本による射詰め競射を行い、6位まで決定する。1位は射詰め、他は遠近法により決定する。射詰競射9本目から8寸星的を使用する。
- オ. 順立ちとする。
- カ. 替弦所持者は、射場後方の、速やかに対応できる所に待機する。
- キ. 的中に異議がある時は、選手が直接射場審判に確認できる。
- (5) 決勝リーグについて(第三日目)
- ア. 全国高校総体・九州大会の予選を兼ねる。
- イ. ベスト7のチームを予選成績(順位)により、A~Gに位置付け、リーグ戦を行う。
予選成績が同中の場合は、抽選により記号を割り当てる。
A(1位)・B(2位)・C(3位)・D(4位)・E(5位)・F(6位)・G(7位)
- ウ. 4矢1立(チーム20射)の対抗戦。同中の場合は、各自1本の競射により勝敗を決定する。
- エ. 対抗するチームが同時に行射(チームは順立)する。射終わったら本座の椅子に戻り、判定の発声の後に退場する。
- オ. 男子・女子が3試合ずつ交互に対抗戦を行う。

カ. 1チームの行射制限時間は6分30秒とする。

キ. 試合順序は次の通りである。

	A	B	C	D	E	F	G
A		20	12	1	8	16	4
B			6	17	2	10	14
C				9	15	3	18
D					5	13	21
E						19	11
F							7
G							

- | | | |
|--------|---------|---------|
| 前・後 | 前・後 | 前・後 |
| 1) A:D | 8) E:A | 15) C:E |
| 2) B:E | 9) D:C | 16) A:F |
| 3) C:F | 10) F:B | 17) B:D |
| 4) G:A | 11) E:G | 18) G:C |
| 5) E:D | 12) C:A | 19) F:E |
| 6) B:C | 13) D:F | 20) A:B |
| 7) F:G | 14) G:B | 21) D:G |

ク. リーグ戦の順位は次の手順で決定する。

- I 勝率による。(勝数の多い方を上位、負け数の多い方を下位とする。)
- II 勝率が同率の場合、リーグ戦全試合の総的中数による。
- III IIで同中の場合、各自1本ずつの競射による。

6 参加資格 「第66回大分県高等学校総合体育大会実施要項」の参加資格に準ずる。

7 参加制限 (1) 団体戦

- ア. 1校男女とも1チームとする。(選手3名以上を団体扱いとする。)
- イ. チーム編成は、監督1名・選手3名～5名、補欠2名の計4～8名とする。
- ウ. 選手の交代については、登録された補欠との交代のみを認め、1・2日目については、交代した選手は以後補欠とみなす。1回の交代で、補欠2名を同時に交代することができる。ただし、3日目のリーグ戦は、登録選手と登録補欠との交代のみとする。
- エ. 団体戦の交代回数規定
 - I 一日目…監督会議前に1回、試合中に1回
 - II 二日目…監督会議前に1回、試合中に1回
 - III 三日目…各対抗戦ごとに交代できる。

(2) 個人戦

個人戦出場資格は、支部予選において男子10射6中、女子10射5中以上の中した者。

8 参加申込 No15 様式により作成し、2部印刷・捺印して、所定の学校一括申込みとする。

なお、承認を得た申込電子データは、期限内に下記にメールでも送信する。

(ファイル名:競技名/校名/監督名)

メールアドレス asou-isao@oen.ed.jp (データ受信期間:5月8日(火)12:00必着)
 鶴崎工業高等学校内 麻生 勲 ※庁内連絡も可。

9 出場権の獲得 (1) 個人戦の1・2位に全国大会の、1～5位に九州大会の出場権を与える。
 (2) 団体戦の1位校に全国大会の、1・2位校に九州大会の出場権を与える。

10 組合抽選 第1回専門委員会 平成 30年 5月 14日 (月) 10時～ 大分商業高等学校

11 連絡事項 (1) 服装は、弓道着又はユニフォーム(肩線のない白シャツ、校服のズボン・スカート白靴下)とする。

(2) 鉢巻きを使用する場合は、無地(派手でないもの)とする。

(3) 弓具・服装の点検を行い、違反選手には行射させない。

(4) 頭髪にリボンを着用することは禁止する。

(5) ゼッケンは、右腰前に付けること。布地は白で、
 県名と学校名は黒、番号は男子が黒、女子は赤で記入する。

なお、サイズは全国大会の形にできるだけ合わせること。

(6) 呼び出しに絶えず気を配り、点検に遅れる等して、

第一控「起立」の号令に間に合わなかった者は失格である。

(7) 選手は大会競技規則を熟知し、違反のないように競技に臨むこと。

ア. 甲矢を射る時、乙矢を取り矢すること。

イ. 矢番え動作後、筈から弦が離れた場合「筈こぼれ」となり、その矢は失格である。

ウ. 監督は道場内の選手に、発声又は動作で合図やアドバイスをしてはならない。選手も同様。

(8) 事故防止に最善を尽くさなくてはならない。そのため指示された危険区域(矢取り道・看的所横・巻き藁練習場)には立ち入らない。応援の者も競技運営に整然とした態度で臨む等協力すること。

(9) 選手宣誓は、前年度 男子優勝校の情報科学高校とする。

(10) 立順は、専門委員会において抽選基準に基づいて厳正に抽選する。

(11) 当日の的前練習はできない。

